



理念

・子ども達の最善の利益を大切に一人一人の個性や意思を尊重し、個々の成長を促すため個性や特性にあったプログラムで全体的発達援助を行い。保護者とともに、お子さんの発達について考え、喜び、学び合う姿勢を大切にします。

療育は、楽しさ、面白さ、心をゆさぶられるような経験と感動体験が提供できるように努めます。将来を見据えて基本的な生活習慣を身につけ社会性を育み優しさと思いやりの心を養うように支援していきます。

方針

- ・基本的生活習慣や技能を身につける
- ・遊びながら学べる療育支援
- ・個別・集団支援の実現
- ・感覚統合療法を踏まえた療育
- ・社会的なルールを学び将来の社会参加を目指す。人と関わることからコミュニケーションの力を育てる。

5領域から個々に合わせた個別支援を策定し
好きな事・興味のあることから課題を策定し楽しいと感じられるような工夫をします。

健康・生活

- ・基本的生活スキルの習得や生活リズムを整えるための支援方法をとともに考えます。
- ・遊びの中で、食事や姿勢保持などの基礎となる力を育てます。

運動・感覚

- ・日常生活に必要な動作の基本となる全身運動をおこないます。
- ・遊びを通して色々な感覚を体験し、活用できるように支援します。
- ・感覚特性を踏まえた環境調整等の支援をおこないます。

認知・行動

- ・個々の理解できる範囲や理解の方法を把握し、日常生活で本人の困難が軽減されるよう支援します。

言語・コミュニケーション

- ・自分の気持ちを相手に伝える方法の習得を発達段階に応じて支援します。
- ・特性に応じた読み書き能力の向上のための支援をおこないます。

人間関係・社会性

- ・社会生活を送る上で必要なスキルの習得を支援します。
- ・個々の発達段階に応じて一対一の個別や、少人数グループでの活動をおこない、社会性の発達を支援します。
- ・人との関わりを通して、気持ちや情動の調整ができるように支援します。

家族支援

移行支援

・地域支援・地域連